2016年12月号「vol.78」 ◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-24-3　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-761-7451

県議会議員
あらい絹世の 磯っ子レポート
県政をもっと身近に
http://www.araikinuyo.jp

土砂災害特別警戒区域指定に向け
磯子と南区で現地調査手続き開始

丘陵地が多い一方、自然災害多発国でもある日本ではがけ崩れ、土石流、地すべりなどの土砂災害への備えが重要になっています。神奈川県内の土砂災害では急傾斜地のがけ崩れが同災害全体のほとんどを占めているのが特色で、2004年から2013年まで10年間の累計では796件と全国で最も多く発生しています。この対策には防止工事などのハード対策と、危険性のある区域を明らかにし、警戒避難体制を整備するなどのソフト対策があり、そのための土砂災害警戒区域や特別警戒区域への指定制度があります。そしてこのための基礎調査と指定は都道府県が行っています。横浜市内では2013年度までに市内全域で警戒区域の指定が完了しており（磯子区114区域、南区161区域）、続いて県では今年11月から横浜市内での特別警戒区域指定のためのがけ地の現地調査の手続き作業に着手しました。まずは磯子区と南区でスタートしましたが、市内ではこれらの区より警戒区域の指定箇所数の多い区もあるものの、必要性を総合的に勘案してこれらの区から始めることになったということです。

土砂災害警戒区域は、急傾斜地の崩壊などが発生した場合、住民などの生命または身体に危害が生ずる恐れがあると認められる区域で、これらはいわばイエローゾーン。危険の周知、警戒避難体制の整備などが行われます。このうち特別警戒区域は建築物に損壊が生じ、住民などの生命や身体に著しい危害が生じる恐れがある区域で、より危険度が高いレッドゾーン。特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制、建築物の移転などの勧告及び支援措置（例えば住宅金融支援機構の融資）などが行われます。

県横浜川崎治水事務所では2つの区での特別災害区域指定のための現地調査を2017年1月から翌2018年1月にかけて実施する予定で、このための手続きとして11月から、両区の連合町内会長会（町内回覧）などで現地調査などについての説明を始めています。また郵送やポスティングによる地権者へのお知らせも1月から本格的に行うことにしています。2018年3月ごろには区域指定の説明会を開き、6月をめどに区域指定の告示を行うスケジュールとなっています。なお、現地調査などの際には、調査員は身分証明書を携帯し腕章を着用して本調査の作業員であることを明確にします。

コレが言いたい！

今後も台風の大型化や増え続ける集中豪雨などを鑑み、ハード面での崩壊防止施設整備を進めると共に、特別警戒区域が指定された後、横浜市の土砂災害ハザードマップに土砂災害警戒区域（イエローゾーン）と特別警戒区域（レッドゾーン）を明記し、ソフト面での住民の警戒避難体制の更なる整備を進めていく必要があります。

今月のひと言

12月11日（日）から20日（火）までは年末の交通事故防止運動期間です。夕暮れ時の事故が増えています。歩行者や自転車が見えにくい時間帯ですので十分注意して下さい。また、この時期は飲酒する機会も増えますが「飲酒運転しない・させない・ゆるさない」を忘れずに!

磯子 あれ？これ？

梅林小学校

杉田小学校は周辺住民の増加に伴い通学児童が増え、二部授業緩和と遠距離通学解消の対策として、昭和35（1960）年4月に梅林小学校が分離・独立して開校しました。学校名は、かつて地元に梅林があり、梅の木の栽培や観光地として賑わったことと、地域の人たちの思いや願いを込めて命名されました。

同校の敷地内には杉田梅をはじめ10種類50本の梅の木が植えられ、季節ともなれば紅白の花を咲かせ、ほのかな香りも楽しむことができます。

また、平成16年からおこなわれている「梅の実集会」では梅の実を収穫して、5・6年の児童たちが「梅ジュース」を作り、7月の全校ぐるみでの給食のときに飲んでいます。

昭和56（1981）年の校庭整備完了を祝って「梅林音頭」が発表され、毎年運動会で全校児童で踊ることが恒例になっています。

同校では、平成21年6月より児童が校内各所の時計を見て行動し、時間を守ることを習慣づけるため、時間を知らせるチャイムを停止しています。

また学校、PTA、おやじの会、地域のボランティア「梅っ子応援隊」などが竹の子掘りや花壇での稲作、餅つき大会、本の読み聞かせなど活発な活動をおこなっています。

ちなみに女優の井上真央さんも同校の卒業生です。

参考：学校長・元PTA役員の話、50周年記念誌

活動報告

かながわ自民党女性議員局は11月11日（金）大磯町役場での子育ての取り組み、子育て支援総合センター、旧吉田茂邸を視察しました。また、11月22日（火）には、「芸術としての教育」を通し、知性・感情・意志の調和した自由な人間を育てる独自のカリキュラムを用いた学校教育を行っている相模原市のシュタイナー学園を訪問しました。

旧吉田茂邸視察

子育て支援総合センター視察

大磯町役場にて

シュタイナー学園視察

あらい絹世 プロフィール

●昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
●横浜雙葉小・中・高等学校卒業
●明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
●日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
●自民党かながわ政治大学12期生
●平成27年4月 県議会議員2期目当選
●県民・スポーツ常任委員会委員長
●社会福祉審議会委員

✉ あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・ FAX 045-761-7451